

## ハープとマリンバのファミリーコンサート

日時 4月17日(土) 14:00開演  
 場所 コスモホール(情報文化センター)  
 出演 青山 唯/ハープ、青山 咲/サウルハープ、  
 齋藤綾香/マリンバ、大野希世加/ピアノ  
 プログラム ハープ/アヴェマリア、ちょうちょう変  
 奏曲、いつも何度でも、マリンバ・ピアノ/女王蜂  
 の逆襲～熊蜂の飛行のテーマによる、チャルダッシュ、  
 ディズニープリンセスメドレー

入場料 小学生から500円  
 YCC会員400円  
 当日も同額 未就学児童は無料 入場整理券が必要です。  
 チケット販売場所 文化会館、情報文化センター、ホームページの  
 予約ページから、またはお電話でもお申し込みいただけます。



問い合わせ 文化会館 「ハープとマリンバのファミリーコンサート係」 ☎23-5599

## あなん 文化紀行 第5回

### 車いすダンス慰問

阿南市文化協会 副会長  
 マドンナダンスクラブ 代表

吉田 真由美

子供の頃からの私の患者さんで、小児麻痺のため体に障害があり車いすを使っている方に、「先生、私にダンスを教えて」と言われた事から始まった。「えーっ何、この私に、何ができるの?」と思ったけれど私を頼ってくれるのだから、障害があってもできるダンスのことを調べてみた。資料を探したり、徳島車いす友の会のイベントのお手伝いをして、一緒に活動しながら勉強した。おかげで少しはわかるようになってきた。

初めてのイベントは2006年に老人ホーム福寿荘で、入所者と友遊くらぶ会員とマドンナダンスクラブとで踊った。車いすの特性を考慮しながら、事故なく楽しく車いすダンスを一緒に踊った。おかげで楽しい1時間を過ごした。それがいい経験になって、ボランティアで「老人施設慰問」を始めてみた。なじみの老

人施設や初めての施設で、踊りのほかに、まだ珍しかった「お口の体操・健口体操・あいうべ体操」、「うんこダスマン体操」、銭太鼓を使って「長生き音頭」、ウクレレ演奏に乗せて、一緒に歌う簡単な替え歌、阿波踊り。それから車いすダンスなど。

車いすを使っている人は、老人施設には大勢いる。脚力が弱っている人が多い。いろいろ演じて、一番よかったのは入所者と一緒に踊る車いすダンスだ。じっと見ているばかりでなく、昔、自分ができていたようにみんなと踊れることを喜んでいろいろと見とれて、とても楽しそう。見物することより、一緒に踊る車いすダンスが大好きなようだ。

2008年、文化協会に入会して初めての阿南市文化祭で車いすダンスを友遊くらぶと踊った。当時、車いすダンスはとても珍しく、みんなに褒めてもらった。

毎年開催している国際ソロプチミスト阿南主催の「チャリティーダンスパーティー」でも、この車いすダンスを最初に踊っている。

時間の都合のつくときは子や孫にも一緒に参加してもらった。お年寄りはとりわけ子どもが大好きだ。と

こへ行っても子どもとの共演は喜ばれた。かわいい子どもとの車いすダンスは格別、楽しそうだった。

老人施設慰問で、私たちも始めは何をしたらいいのかわからなかったけれど、今は自分たちができるダンスを演じたら、自然とみんなに喜んでもらえるようになっていた。仕事をしながら、約15年の間に400回を数えるほど慰問している。いつも一緒に行動するメンバーは電話やメールで日時を知らせると二つ返事で集まってくれる。ありがたいことだ。

しかし、施設慰問等いろいろ入っていた予定は、1年前から新型コロナウイルス感染症の影響で全て無くなった。私たちが待っていてくれる人たちがいる。コロナ禍が早く収束し、活動が再開できることを望む。

